

平成25年度 第3回 函館市南茅部地域審議会会議録

| | | | | | |
|-------------|---|--|---|--------------------------------------|----------------------------|
| 開催日時 | 平成26年3月27日 木曜日 午後2時00分～午後3時35分 | | | | |
| 開催場所 | 函館市南茅部支所3階 多目的ホール | | | | |
| 内 容 | <p>報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>(2) 平成26年度国および北海道の予定公共事業について</p> <p>議 題</p> <p>(1) 平成26年度事業計画について</p> <p>(2) 平成26年度地域審議会開催スケジュール(案)について</p> <p>(3) 合併建設計画の変更について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p> <p>(1) 函館市地域公共交通総合連携計画の策定について</p> | | | | |
| 出席委員 | 熊谷委員 遠山委員 熊谷委員 | 高谷委員 佐々木委員 工藤委員 | 藤川委員 木原委員 | 山下委員 張磨委員 | 坂本委員 齊藤委員 (計12名) |
| | ・報道関係 | NHK函館放送局 | | | (計1社) |
| | ・傍聴者 | 1名 | | | (計1名) |
| 欠席委員 | 中村委員 坂井委員 野口委員 | | | | (計3名) |
| 事務局の出席者の職氏名 | 南茅部支所長 同地域振興課長 同市民福祉課長 同産業建設課長 同地域振興課主査 同地域振興課主任 南茅部教育事務所長 市立函館南茅部病院事務長 | 國安秀範 進藤昭彦 小枝精一 川井敏彦 西谷光一 飯田敏次 田名部洋 加我賢也 | 企画部長 同計画推進室計画調整課長 同計画推進室政策推進課長 同計画推進室計画調整課主事1級 教育委員会生涯学習部参事 | 谷口 諭 田畑聡文 手塚祐一 江藤彰洋 阿部千春 | (計13名) |

1 開会（午後2時00分）

事務局
(進藤課長)

ただ今より、平成25年度第3回函館市南茅部地域審議会を開会します。

2 会長あいさつ

熊谷会長

<挨拶要点>

皆様、ご苦労さまでございます。

年度末を迎え大変お忙しいなかご出席をいただきまして大変ありがとうございます。

また、本日は谷口企画部長をはじめ、関係の皆さまのご出席をいただき、心よりお礼を申し上げます。

なお、國安支所長と進藤課長につきましては、後ほどご挨拶があらうかと思いますが本庁の方に異動になることになってございます。

國安支所長には1年間、進藤課長には3年間とそれぞれに何かとお世話になり、責任を果たしていただきましたことにつきまして、この場を借りて、委員の皆さんと共に心から感謝申し上げるところでございます。本庁に行かれましても、これまで以上に益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。

さて、本日の審議会でございますが、平成26年度を迎えるに当たり、平成26年度の事業計画や国や北海道の予定公共事業について説明を受けるほか、前回の審議会で諮問のありました合併建設計画の変更について協議することとしております。委員各位のご意見・ご提言をご期待申し上げまして開会に当たっての挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

3 支所長あいさつ

國安支所長

<挨拶要点>

皆さまにおかれましては、何かとお忙しいところ、ご出席いただきまして心から感謝申し上げます。

平成26年度1回市議会定例会が、2月27日から、昨日3月26日までを会期として行われました。その中で新年度の予算が決定してございます。市の財政状況は依然として厳しい状況でございますが、予算全体といたしましては、北海道新幹線の開業を見据え、地域経済の活性化に意を配するとともに、福祉、教育、防災などにも配慮したものとなっております。

本日の会議の内容は、熊谷会長のご挨拶にもありまして、平成26年度事業の事業計画や前回諮問いたしております合併建設計画の変更についてなどでございます。

委員の皆様の活発なご意見、ご提言をお願いいたしまして、簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

4 出席委員の報告

| | |
|---------------|---|
| 事務局 (進藤課長) | 出席者12人，欠席者3人，出席者が過半数に達しておりますので，地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により，会議が成立していることをご報告いたします。 |
|---------------|---|

5 報告事項

(1) 諸般の報告

| | |
|-------|--|
| 熊谷会長 | それでは，次第により進めてまいります。 日程5の報告事項についてであります，(1) 諸般の報告について，國安支所長より報告をお願いいたします。 |
| 國安支所長 | それでは私の方から諸般の報告ということで，3点ほど報告させていただきます。 まず1点目でございますが，市の人事異動でございます。 先ほどの熊谷会長のご挨拶の中でも概要についてお話しがございましたが，今回，4月1日付けで人事異動がございました。私は本庁の港湾空港部長ということで異動いたします。後任には市民部の次長でございます五十嵐というものが昇格し，支所長として就くことになっておりますのでよろしくお願い申し上げます。また，地域振興課長の進藤課長が企画部企画管理課長として本庁に異動いたします。後任といたしましては，地域振興課の西谷主査が課長として任に就くことになってございますのでよろしくお願い申し上げます。 2点目は，平成26年第1回市議会定例会の概要でございます。 市町村合併から10年のまちづくりの検証についてということで質疑がされてございます。合併10年のまちづくりをどのように評価しているかとの質問に対し，企画部長の方から，合併後はそれぞれの地域特性を生かしたまちづくりを進めてきた。特に東部4地域については合併建設計画や過疎計画に基づき，主要産業の水産業の振興をはじめ，コミュニティセンターや保育所，消防庁舎の整備など，地域性に配慮した施策や事業を進めるとともに，ブロードバンド化，防災対策，交通料金助成制度など，合併後の均衡ある発展に資する取り組みも進め，合併によるまちづくりの進捗が一定程度図られてきたものと認識していると答弁がありました。 今後どのように東部4地域のまちづくりを進めるのかとの質問に対し，同じく企画部長の方から，地域に最も近い立場である各支所が，町内会などとの日常的な係わりのなかで，喫緊の課題や住民ニーズを把握し，住民が主体的に関わるまちづくりを進め，各地域の振興を図っていききたいと答弁いたしました。その後，工藤市長の方から，合併により，財政的なことや施設整備は個々の自治体のときよりも実現しやすくなった。今後も地域の要になるのは支所であり，地域を率先する情熱を持った職員を配置したいということ述べてございます。 そのほかに，南茅部地域を含む東部4地域の関連といたしまして，防災，特に除雪の関係で，降雪時における防災体制についての質問と，縄文遺跡群の世界遺産登録などに関わって質問がございました。 |

| | |
|-------|--|
| | <p>3点目といたしまして、1月20日に市長とまちづくりについて語り合う「市長のタウンミーティング」が当支所で開催されました。</p> <p>当地域からは、南茅部町内会連絡協議会と南かやべ縄文文化創生の会の参加をいただいております。</p> <p>南茅部町内会連絡協議会では、当審議会の委員でもあります藤川副会長の方から、地域会館の必要性や、地域における医療機関の重要性を市長に強く訴えていただいたところでございますし、市長の方からも答弁をいただいております。また、南かやべ縄文文化創生の会には、遠山委員も加わっていただいております。縄文文化を通じた地域の連帯意識をどう高めるかですとか、中空土偶のPRといったことについて市長と意見交換をされ、有意義な場であったと評価しております。以上が私からの諸般の報告でございます。</p> |
| 熊谷会長 | <p>報告が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質疑ありませんか？</p> |
| 遠山委員 | <p>各支所が要になって地域振興を図っていくとあったが、今回支所長が1年で変わるようになった。支所長として人を知り、地域を知ってやっと1年間過ごしてさあこれからという時に異動ということで、やりつくしたという思いがあるのか、それともまだまだやり残したことがあるのか、その辺りの心情を聞かせてほしい。</p> |
| 國安支所長 | <p>1年でやりつくしたのかといわれれば、私はやりつくしてはいないと思っております。ただ、1年という年度の役所のサイクルで、消化ということではございませんが、この1年間は濃密であったといいますか、地域会館ですとか保育所の関係など、最初は皆さんとお顔を合わせても名前と顔が一致しないというところがございますが、そういったことも皆さんとお話しをしながら、この1年間、この地域のまちづくりについて、なんとかやって参りました。今後の地域会館や保育所の方向性も決まり、これからもやりたいという思いは残ってございますが、公務員は辞令をもらいましたらその場その場の仕事を一生懸命やるということが常でございますので、そういうことでご理解いただきたいと思っております。</p> |
| 遠山委員 | <p>支所長を責めるわけではないが、地域審議会委員として、やはり支所長はしっかりと地域に腰を据えて、地域の実情をきちっと把握し、その中で、地域の声を本庁へ届けていくといった役割を担っている方だと思っている。それが1年間で変わるということは、納得いかない部分もある。今後の部分だが、支所長に関しては地域の要であり、函館市の人事というのは、これからも短いスパンで替えていくのか。これは市長に伝えてほしいが、支所長は、きちっと腰を据えて、地域の実情を分かった方がそこに就いて地域振興を図らなければという思いがあるので、そういうことを伝えてほしい。</p> |
| 國安支所長 | <p>遠山委員の意見は市長に伝えたいと思っております。ただ、市長はいつも1年1年が勝負だとも言っております。私はその技量が足りなかったもので、1年で皆さんの納得するような話し合い等が充実していたかといわれると疑問が</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>ありますが、ただ、今おっしゃったことは私も分かりますし、1年というのは私自身も心残りの思いもありますので、その辺りは市長にもお伝えし、人事担当の副市長とも懇談しますので、その折に地域の声ということでお伝えしたいと思います。</p> |
| 坂本委員 | <p>地域審議会委員は全員が南茅部地域の在住である。たとえ1年間でも、他地域から南茅部に赴任した支所長から見て、我々の今後の参考にするためにも、ここの地域にはこれが必要だとか、今後こういうことをしていった方がいいのではないかとといったことがあれば、今後そのような目で見て、ここをこういうように変えていかなければということで、地域に対して貢献していきたいと思うので、そういったことがあれば、1点でも2点でも教えてほしい。</p> |
| 國安支所長 | <p>私は尾札部の弥生団地という職員住宅で1年間暮らしまして、朝は趣味のジョギングでコンブ漁なども見させていただきました。非常に活気がある町だと感じてございます。旧市内というのは、第3次産業が主でして、他の地域で景気が良くなっても、自分たちのまちの景気が良くなるのが遅いとか、景気、不景気が関係します。この地域は1次産業ですので、大漁か不漁か。去年は天然コンブが少し不漁でしたが、それにもかかわらず、ある程度漁業高があり、昆布の値段も皆さんのご努力によって上がっています。また、定置網もブリが大漁ですとか、いろいろな面で最後の年末に豊漁でしたので、そういった状況が一喜一憂して、そこで自分たちの収入が上がります。そういうところは、私はある程度魅力だと思います。ただ、合併した時点から7,000人強あった人口が今は6,000人を切ろうとしております。この地域の人口減少をどう止めるかについては、私は、可能なのではないかと考えています。漁業主体のこの町として、定置の従業員などの若い方もいっぱいいますし、その若い方が定住できるような環境を整えること、今回保育所を民営統合化という形で、その子供の子育ての環境を整えるだとか、小学校をきちんと整備するなど、若い方が子供を産んで育てたいと思うようなまちを作るのがいいと思います。</p> <p>ちょっと気になるのは、合併して12月で10年になりますが、4地域が一緒の地域ということで評価を同一にされていますが、そこは、10年を機という訳ではありませんが、この地域のように6,000人弱のまちと、1,000人規模など4地域の村と町のいろんな事情を持ったまちが合併していますので、ここの地域はこういうことでということで役場の職員も頑張っていて、まちづくりを一生懸命やっていますので、ここのまちの特徴を常に本庁なりことあるごとに声を出して、地域審議会会長とか支所長もそうですが、そういった声を出して行って、活性化といいますか、この地域が発展していけばいいなと思っています。</p> |
| 熊谷会長 | <p>今支所長の方から1年間の中で感じたことをご答弁いただきましたので、このことについても、審議会の委員の皆さんをはじめ、各町内会もそうですが、みんなに情報を発信して行って、議論を深めていきたいと思っています。</p> |

| | |
|-------------------------------------|--|
| | <p>また、支所長が異動になりますので、自分が感じていたこと、課題として残るようなことをきちっと新しい支所長へ引き継ぎをお願いしたいと思いません。</p> <p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p> |
| <p>(2) 平成26年度国および北海道の予定公共事業について</p> | |
| <p>事務局 (進藤課長)</p> | <p>(資料1のとおり説明)</p> |
| <p>熊谷会長</p> | <p>報告が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p> |
| <p>6 議 題</p> | |
| <p>(1) 平成26年度事業計画について</p> | |
| <p>熊谷会長</p> | <p>日程6の議題に入ります。 (1) 平成26年度事業計画について、事務局から説明願います。</p> |
| <p>事務局 (進藤課長)</p> | <p>(資料2のとおり説明)</p> |
| <p>熊谷会長</p> | <p>説明が終わりましたので質疑を行いたいと思います。 質疑ありませんか？</p> |
| <p>藤川委員</p> | <p>5ページの国への要望事業については金額が記載されていないが、平成26年度は予算確保未定という意味なのか。要望事項だから予算額が載っていないのか？</p> |
| <p>産業建設課 (川井課長)</p> | <p>南茅部バイパスの豊崎から大船方面への延伸2.9kmの部分ですが、測量や部分的にでも用地の買収に入ればということで、つかみでいくらいくらということで情報は入っておりますが、しっかりした金額については、まだ積算されていないというのが実情でございます。</p> |

| | |
|-----------------|---|
| 遠山委員 | バイパスに関連してだが、豊崎以降のバイパスに歩道が整備されないとの話を聞いたが、どのような状況になっているのか？ |
| 産業建設課 (川井課長) | <p>当初の計画で、国の予算付けにつきましてはB/C（費用対効果）の関係がございます。今のところ、歩道を付けますとB/Cが1を切ることになり、事業着手が認可されず工事できないこととなりますが、整備計画から歩道を外すと何とかB/Cが1をクリアするというところで開建の方で試算してございます。</p> <p>なお、歩道の整備については、地域あるいは支所としても強く望んでおりますので、将来的に歩道を設置できるような用地の買収確保ということ念頭に置いて要望しており、これに対しては、開建の方も対応を検討してくれるということで回答を得ております。</p> |
| 遠山委員 | 豊崎トンネルまでは歩道が確保されていて、その先、急に歩道がなくなるということは、ちょっと解せない気がするが、今の話だと、当面は歩道なしで作業が進んでいくという考え方でいいのか？ |
| 産業建設課 (川井課長) | 今の計画の中では、最初から歩道を整備するという計画にはなってございません。将来的に国の方の予算等も確保しながら、後付になるかと思いますが、歩道設置を検討していただくということで、見通しとしては、確定はしていませんが、我々が要望している中では、しっかりと受け止めてもらっておりますので、それを期待しているという状態でございます。 |
| 遠山委員 | バイパスが完成したら、例えば、駒ヶ岳が噴火したとき鹿部方面からの避難路になったり、津波に対する重要な避難路になる。それが、車道しかないとなると、徒歩で避難するときに、車両と歩行者が同じスペースの中で避難しなければならないという非常に危険な状態が生まれてくると思う。これを考えた時に、やはりきちっとした歩道の整備というのが必要になってくると思うので、しっかり要望をしていってほしい。 |
| 産業建設課 (川井課長) | 昨年、地元の説明会を開催しまして、その中でも歩道が付かないということで説明していますが、遠山委員が言われたとおり、防災上の関係では、徒歩で避難する方もございますので、そういった避難路の歩道の確保ということで強く要望がございましたので、その時点で八雲道路事務所に強く要望してございます。 |
| 遠山委員 | 合併建設計画の延長が無ければ今年度が最終年度となっていたが、前回の審議会で、南茅部地域の平成24年度までの合併建設計画の執行状況が、金額が33億円、執行率が46%だった。仮に、平成26年度事業計画が100%執行された場合の金額と執行率は分かるか？ |
| 企画部 (田畑課長) | ただ今のご質問でございますが、先般、8か年の執行状況ということで、資料でお示しさせていただきました。南茅部地域の状況でございますが、遠山委員のおっしゃるとおり8か年の実績ベースで45.3%、平成25年度 |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>予算ベースでいきますと53%程度が見込まれているところでございます。</p> |
| 遠山委員 | <p>今の執行率は、26年度の計画額も反映した最終的な数値なのか？</p> |
| 企画部 (田畑課長) | <p>25年度のベースで申し上げました。26年度については、まだ数値を集計しておりませんので、追ってまたご報告させていただきたいと思っております。</p> |
| 熊谷会長 | <p>他にありませんか？</p> |
| 佐々木委員 | <p>5ページの地域福祉バスの運行について、支所でバスを何台保有しているのか？</p> <p>病院バスや社会福祉協議会で使用されているのは知っているが、そのほかの使用状況と、どのようなものに使用できるのか教えてほしい。</p> |
| 地域振興課 (進藤課長) | <p>地域福祉バスは2台ございまして、今おっしゃっていた南茅部病院の送迎は毎週火曜日の週1回運行しております。このほか、町内会や老人クラブなどで研修会や視察などの事業を実施する際や、保育園や小中学校の行事で、中体連で市内に遠征をしたり、保育園同士で交流会を実施する際や、地域の団体がイベントを実施する際などに使用しております。</p> |
| 佐々木委員 | <p>例えば地域の老人クラブで花見をしたいとき、支所へ依頼すれば貸してもらえるのか？</p> |
| 地域振興課 (進藤課長) | <p>運行要綱というものがございまして、利用者が10人以上、時間が9時から17時までで渡島桧山管内での運行というような制限はございますが、団体の方から、こういった事業で使用したいと申請してもらえれば使用できるようになっております。</p> |
| 佐々木委員 | <p>そういうことに利用できることが一般の住民にあまり知られていないように思う。決められた年間の行事などにはいろいろと使用されているが、普通の人たちがバスを使用して何かしたいといった発想がないような気がする。</p> |
| 地域振興課 (進藤課長) | <p>基本的に公共的な団体にお貸ししているもので、個人単位ではお貸ししておりません。実際の利用状況を申し上げますと、年間に200回以上の利用があり、かなり利用されている状況となっております。</p> |
| 熊谷会長 | <p>他にありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> <p>特に無いようですので、質疑を終了します。</p> |

(2) 平成26年度地域審議会開催スケジュール(案)について

熊谷会長 (2) 平成26年度地域審議会開催スケジュール(案)について、事務局から説明願います。

事務局 (進藤課長) (資料3のとおり説明)

熊谷会長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか？

(特に無し)

無いようですので、質疑を終了します。

(3) 合併建設計画の変更について

熊谷会長 (3) 合併建設計画の変更について、前回の地域審議会で諮問を受けた事項でございますが、企画部から説明をお願いします。

企画部 (谷口部長) 合併建設計画の変更についてでございますが、前回の地域審議会で諮問させていただきました。その際には、17年度から24年度までの8カ年の執行状況ということで取りまとめて配付もさせていただきました。

今回は計画自体の変更素案を作成し、新旧対照表も取りまとめさせていただきました。

前回もご説明いたしましたが、この計画変更は東日本大震災の影響を受けて、その関係法令の改正により、合併特例債の発行期限が延長されたことに伴うものであります。計画の変更に当たりましては、期間の延長と、延長部分の財政計画の変更が主な改正内容となりますので、詳細につきましては、担当課長の方から説明をさせていただきます。どうぞよろしく願います。

企画部 (田畑課長) (資料4のとおり説明)

熊谷会長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか？

(特に無し)

熊谷会長 変更の内容については合併建設計画書本文の変更は行わず、期間と財政計画の変更であります。今後5年間の事業については、現在の計画書本文のどこかにあてはめて対応できるということでご理解していただいて、この度の変更については、答申するにあたって付帯意見がございましたら意見を述べ

| | |
|-------------------------------------|---|
| 熊谷会長 | <p>ていただいて結構ですが、できることなら異議なしということで答申したいと思っておりますがいかがでしょうか？</p> <p>(異議無し)</p> <p>それでは異議なしということで答申したいと思います。</p> <p>なお、答申書は4月末までに提出することになっておりますので、作成につきましては、正副会長に一任していただき、皆様に後日確認していただくという意味で配付する形をとりたいと思っておりますがよろしいでしょうか？</p> <p>(異議無し)</p> <p>ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。</p> <p>次は日程7でございますが、その前に日程8その他(1)函館市地域公共交通総合連携計画の策定について、これも同じく企画部の関係でございますので、続けて企画部の方から説明いただきたいと思っております。</p> |
| 8 その他 (1) 函館市地域公共交通総合連携計画の策定について | |
| 熊谷会長 | <p>日程8のその他(1)函館市地域公共交通総合連携計画の策定について、企画部から説明をお願いします。</p> |
| 企画部 (手塚課長) | <p>(資料5のとおり説明)</p> |
| 熊谷会長 | <p>ただ今の説明は公共交通の将来のことで、26年度はいろいろと意見を聞いた中で実施計画を作成するとの説明でございます。</p> <p>利用しやすい交通体系をどうするかということでございますので、これについて何かお聞きしたいことはございますか？</p> <p>南茅部地域を含む東部4地域は、函館バスが運行していますが、時間的に間隔が空いているのが現状です。その辺りのことも今後どうしていくのかなど、まだ具体的には決まっていないとのことですが、そういう方向にしたいくらいの答弁はしてもらえるのかと思っておりますので、何かありませんか？</p> <p>遠山委員何かありませんか？</p> |
| 遠山委員 | <p>民間の経営なのでなかなか難しい部分はあると思うが、最近テレビで外国の旅行番組を見たりするときに、バスといってもマイクロバスがいっぱい走っている。それを踏まえて特にこの路線を考えた時に、費用対効果を考えると大型バスが走っているののだろうかと思っている。乗客が2~3人しかいない時間帯もあり、それを考えると、車種というか、もう少し大きさを加減して小さいバスを走らせてもいいのではないか。</p> |

| | |
|-----------------------------------|---|
| <p>企画部 (手塚課長)</p> <p>熊谷会長</p> | <p>また、ここにも記載されているが、私も市内で電車を利用する機会はあるが、バスの路線をみても本当にわからない。ある程度土地勘のある私もわからないので、例えば観光客が気軽にバスを利用できるような分かりやすい路線のあり方が必要だと思う。これから新幹線が開通してどんどん観光客が入ってきたときに、バスをきちっと使えるような環境を整えていくということは、これからの観光振興に向けても大事なことだと思うので、ぜひ分かりやすさということで計画を作ってほしい。</p> <p>遠山委員からご質問のありましたバスの大きさでございますが、函館バスにつきましては、徐々に大型のものから、より安価な中型バスに切り替えをしているところでございます。利用実態に合わせたバスの大きさも考慮していかなければならないと思いますので、函館バスの方にもお話しして参りたいと考えております。</p> <p>また、路線が分かりづらいとのご指摘がございましたが、市内では、バス停が同じような名前で何か所もあり、路線がどこにしているのか分からないなど、アンケート調査でも、そういった指摘が沢山されておりますので、解消を図るために、来年度以降個別に精査を進めて参りたいと考えております。</p> <p>地域の人たちが喜んで気軽に利用できる交通体系になればいいなどの思いでございますのでよろしくお願ひします。</p> <p>特に無いようですので、これで質疑を終了します。</p> <p>企画部の方については、これから楳法華の審議会がございまして、これで退席させていただきますのでご理解していただきたいと思ひます。</p> |
| <p>7 地域振興全般に関する意見交換</p> | |
| <p>熊谷会長</p> | <p>それでは一つ戻りまして日程7の地域振興全般に関する意見交換を行います。どなたかご意見ございますか。</p> |
| <p>遠山委員</p> | <p>今日はこの地域でも空気が霞んでいるが、函館市としてPM2.5の測定をしているのか？また、南茅部地域内ではどうなのか？</p> |
| <p>市民福祉課 (小枝課長)</p> | <p>全道の測定数値が道のホームページで公表されているほか、函館市でも万年橋小学校の1か所で測定しており、環境部のホームページで公表されております。</p> |
| <p>遠山委員</p> | <p>その測定を踏まえて、注意喚起をするというシステムにはなっていないのか？</p> |
| <p>市民福祉課 (小枝課長)</p> | <p>環境部のホームページなどで注意喚起を行っております。</p> |

| | |
|-----------------|---|
| 遠山委員 | <p>大雨や台風の際は、注意喚起するための防災無線を活用しているので、もし、これから頻繁にこういう状況が起きるのであれば、測定数値を活用して防災無線で注意を喚起することも必要だと思う。</p> <p>また、防災無線の件についてだが、設置当初は屋外にも分かるようにということで、アナウンスをかなりゆっくり話していた記憶があるが、最近、普通の速さで放送するので、屋外で良く聞き取れない状況になっている。もう一度基本に帰って、特に災害時には聞き取れないと意味がない放送なので、日常から話す側の訓練として、ゆっくり、屋外にいても聞こえる、理解できるようなスピードで話すことを放送する担当者に周知してほしい。</p> |
| 熊谷会長 | <p>行政以外の漁協等の放送を含めた防災無線全般の放送ということによろしいですか？</p> |
| 遠山委員 | <p>防災無線全般の放送ということでの要望です。</p> |
| 地域振興課 (進藤課長) | <p>ごもっともだと思いますので、漁協の方にもお伝えし、分かりやすい放送になるように努めたいと思います。</p> |
| 熊谷会長 | <p>先ほど遠山委員から出たPM2.5の測定箇所は、函館市内で何か所あるのか。万年橋小学校の1か所だけなのか？</p> |
| 市民福祉課 (小枝課長) | <p>現在、正確な資料がありませんので、きちんと確認して情報提供したいと思います。</p> |
| 熊谷会長 | <p>PM2.5は市民に対する健康を害する物質であり、現在、皆さんが心配していることなので、早急に各支所を含めて市内各地で活用できるような測定体制を作らなければならないのではないかと。予算化されていないのかもしれないが、その辺りは、後日確認して報告してほしい。</p> |
| 國安支所長 | <p>本日皆さんにお配りしている函館市まちづくり3か年計画の中で、PM2.5などの測定について、環境監視の拡充を図るということで記載されており、26年度と28年度に実施というようになってございますので、強化を図るということで考えているものと思いますが、詳細につきましては、次回の審議会で報告したいと思います。</p> |
| 熊谷会長 | <p>ただ今支所長から答弁がありましたとおり、詳細については、次回の審議会で報告するということですので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>他に何かありませんか？</p> |
| 木原委員 | <p>防災無線について、イエローグローブの方に行くと屋外ではほとんど聞こえない状態になっている。買物客や、バイパスをウォーキングしている人に屋外の防災無線はほとんど聞こえていないが、今後、防災無線を増設する計画はあるのか？</p> |

| | |
|-----------------|---|
| 地域振興課 (進藤課長) | 家が増えてきて市街地化してきているところは聞こえづらい状態にあるということが分かりまして、そういうところを調べて今後の課題とさせていただきたいと思います。 |
| 熊谷会長 | この件についても7月の審議会までにある程度市の方と協議し、やるやらないは別にしても、方向性だけでもきちっと示していただければと思いますのでよろしくお願いします。 |
| 工藤委員 | PM2.5の関連で、次回の審議会で報告ということだった。私も午前中屋外で作業していたが、お昼のテレビニュースで、室蘭でPM2.5の濃度が高いと報道されており、南茅部地域は大丈夫かと心配になった。このニュースについて、函館市として深刻に受け取っているのか？ |
| 國安支所長 | 先ほどの答弁でもまちづくり3か年計画の中でも監視強化ということで載っておりますので、環境部を中心に検討しており、その辺りは市としても問題視していると考えていただいて構わないと思います。 |
| 熊谷会長 | これも今日のことですから、本当にPM2.5なのかどうかということの確認もしていただければと思います。 |
| 産業建設課 (川井課長) | PM2.5についてですが、おそらく中国の方から来るとなれば上空になります。私は出勤後に海の方を必ず見ますが、風向きも海の方からきておりまして、支所から見ますと、霧も上空ではなく眼下に見えておりましたので、今日の分については、南茅部地域は心配ないと理解していいのではないかと考えております。 |
| 佐々木委員 | 余談かもしれないが、お昼に室蘭のPM2.5のニュースを見たときは、呼吸疾患のある方は外出しない方が良いでしょうねといった、すごく鬼気迫ったニュースとは違って、各個人で注意してくださいというようなニュースの流し方をしていた。 |
| 熊谷会長 | ただ今、川井課長の方から答弁がありましたとおり、上からきたものではないので通常の高霧だということにとらえてもいいのかという感じかもしれませんが、詳しいことは市の方に確認しながら皆さんにお知らせしたいと思いません。 |
| 坂本委員 | 以前にも話していると思うが、ちょうど建設計画が5年延長し、消防も4月から移転するというので、南茅部地域の番地についてお聞きしたい。 南茅部地域の番地の並びが分かりづらい。いつまでも屋号などで呼び合い地番が分からないままでもいいものなのかどうか。以前話したときはかなり大変だということは私も分かったが、函館市になって、せっかく合併建設計画も5年延長となるので、その中で整理してしまった方が良く思っている。毎年、人がどんどん変わってきており、屋号で呼び合うこともそろそろ変えていかなければならない中で、永久的にそのままいくものなのか。パイパ |

| | |
|--------------------------|---|
| <p>市民福祉課 (小枝課長)</p> | <p>スもある程度形が見え、道路も大体できてきており、地番がしっかり整理されていないのはどうなのか。隣と隣の番地が全く違ったり、或いは緊急で郵便物などの配達をする際に、番地が何番地ということで実際に近所まで行っても家が探せないという事実もあったと聞いているので、そういったことについて、今後、どのように考えているのか？</p> <p>ただ今の質問についてですが、字名地番改正というものを合併前の地籍調査が終わった時に実施し、各地域の地番を振り直しております。</p> <p>ただし、市民福祉課で住民登録などをしていて出てくるのは、別家が、本家の地番を使って住民登録していることがあります。例えば本家が100番地で、自分が別家となり隣の102番地に引っ越ししたのに、そのまま100番地を使い誤って住民登録している。そのため、自分の住民登録は100番地であっても、実際は102番地に住んでいるというように勘違いをしている場合があります。</p> <p>本人が旧態以前に転居前の本家の地番を使っている方や、特に本籍については、今でも自分の生まれた家の地番をそのまま使い、住民登録もその本籍地で登録されている方もおります。ただ、最近では、住宅を建てる際に登記をしなければならぬので、ほとんどは正しい番地で住民登録をしています。</p> <p>屋号のことは昔からのことですので何とも言えない部分がありますが、字名地番改正できちんと地番は振り直しており、以前のような八木や八木泊といった字名は現実にはありません。そういったことで本人が思っている地番と実際の地番が違う場合がありますが、土地の付番は一定のルールに基づいてきちんに行われております。</p> <p>ただし、市街化区域のような住居表示ではありませんので、例えば尾札部町でいえば見日地区から磨光地区までの海岸線の土地から順番に付番した後、その裏の土地をまた見日地区から順番に付番しているため、場所によっては100番地の一つ裏が全く違う番地という場合があります。</p> |
| <p>坂本委員</p> | <p>例えば100番地であれば、その裏が100-2とか3とかそういうようにしてもらえれば流れが大体分かる。高台の方は1000番地が多く、海岸沿いは1番地から順に付番されているが、その裏の土地の番地が分かりづらいので、一体感のある番地に決められれば分かり易くなると思う。</p> |
| <p>南茅部病院 (加我事務長)</p> | <p>例えば100番地の1筆を分筆すると100-1とか100-2になります。ですから基本的に100番地の裏の1000番地を100-1にすることはできませんので、地番改正などをするしかありません。</p> <p>過去に付番した段階では、バイパスが出来て高台に家が建つ想定は無く、海岸沿いから順番に付番していきましたが、そのすぐ裏の土地や高台の方にも家が建てられる状態になっていき、すぐそばなのに地番が離れているという現象は確かにあると思います。それを簡単に修正することは難しいと考えております。</p> |
| <p>國安支所長</p> | <p>住居表示であれば、街区を整理し、函館市であれば函館山を中心に1から</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>順番に番号を振っていき、家の建っていない所も全部振っていきます。こういった住居表示をすると非常に分かり易いですが、地番に頼ると目的が登記のため、土地に対して番号を振り、そこに対する所有権と権利を発生させることとなります。一つの土地を分筆すると、分筆された土地の登記の順番で枝番をつけていき、法律の目的が土地に対する所有権等となるので地番の並びなどは考慮されません。</p> <p>旭岡町などは住居表示を実施していませんが、土地の造成時に区画をきちんと整理している計画的な町ですので、登記の地番をそのまま住所地として使っています。そういう計画的な町の地番と、皆さんの居住生活の中で、分筆などで土地を分けていく登記法の地番とは、そういったことに差が出ていて分かりづらい部分はあると思います。ご指摘のとおり、分かり易く整理する手法はあるかと思いますが、相当な費用と労力が必要で、簡単に修正することは難しいと考えております。</p> |
| 熊谷会長 | <p>同じような形態の町で、森と合併した砂原の例で、1丁目1番地などで整理したそういう実例もありますので、その辺りも確認して次の機会にでも教えてもらえればと思います</p> <p>その他何かありませんか？</p> <p>それでは全体を通じて何かありませんか？</p> <p>(特に無し)</p> |
| 熊谷会長 | <p>皆様には、長時間にわたり、熱心にご審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>次回の地域審議会は7月を予定してございます。本日の審議会をこれで閉会いたします。</p> |